

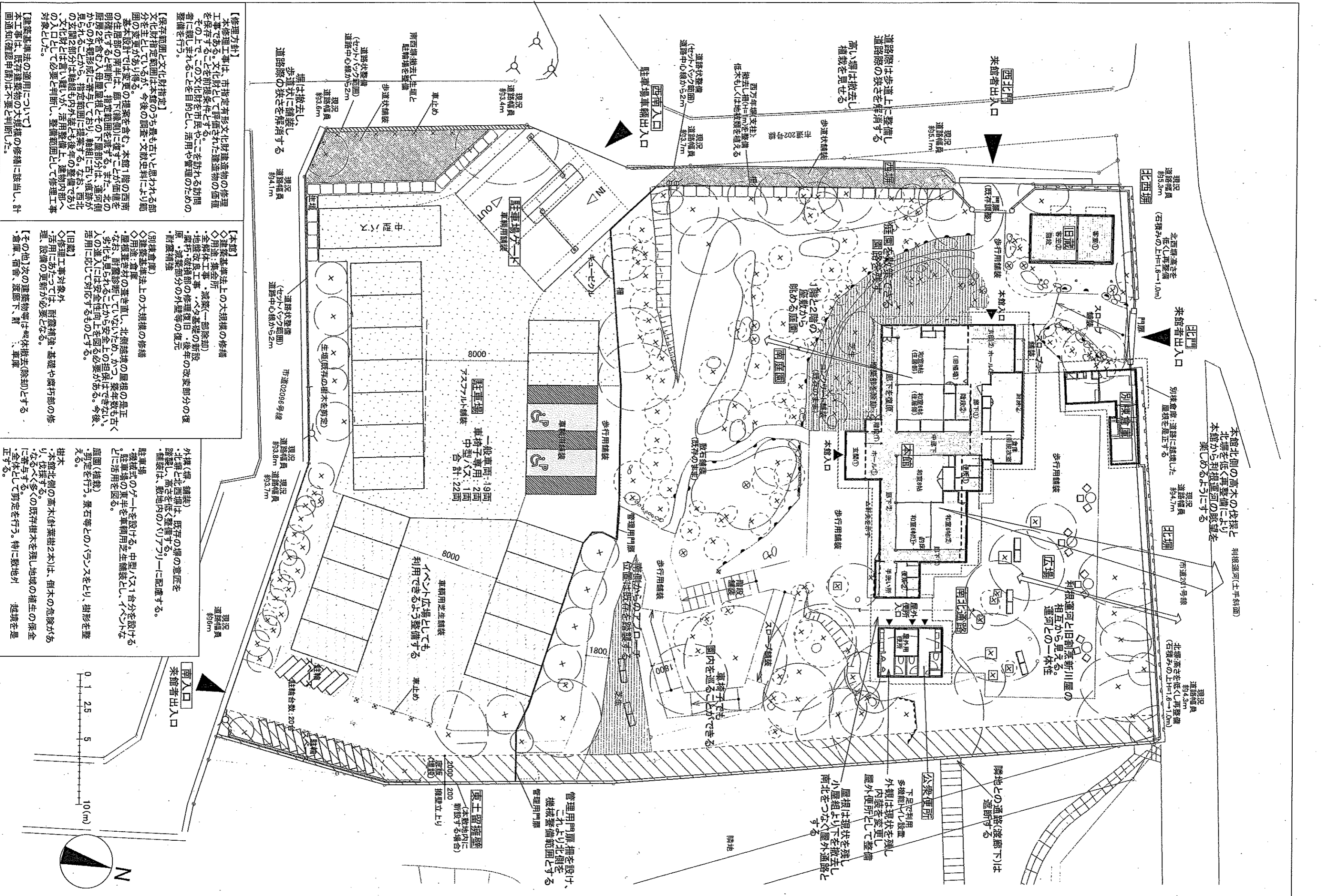
- 凡例
- 実測不可の柱
 - 通し柱か ○ 通し柱
 - 保存指定範囲
 - 保存指定検討範囲
 - 1階保存指定範囲
 - 1階壁面境界線

十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

8129
4545
909 251
1212
1212

十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

540 620
2727
7372
1818
1667



【保存範囲と文化財指定】
文化財指定範囲は本館のうち最も古いと思われる部分を中心としているが、今後の調査・文献史料により範囲の修正があり得る。
基本設計では変更の提案を含む。本館1階の西南の住居部分の大半は、廊下(縁側)を減らすことが価値を明確化する。指定範囲を減らす。また、北側から、廊下の外観形成に寄与しており、軸組に古い建物が残る。文化財として指定範囲に提案する。なお、西北の文化財として指定範囲も、活用数値上、建物内部への入口として必要と判断し、整備範囲として修理工事対象とした。

【修理方針】
本修理工事は、市指定有形文化財建造物の価値を保存することを前提条件とする。
その上で、この文化財を市民や、活用や管理のための者に親しまれることを目的とし、活用や管理のための整備を行う。

【建築基準法の適用について】
本工事は、既存建築物の大規模の修繕に該当し、計画通知(確認申請)は不要と判断した。

【本館】 建築基準法上の大規模の修繕
 ◇用途: 集会所
 ◇全館体工工事: 減築(一部除却)
 ・地盤改良工事
 ・腐朽・破損部の修理(復旧・後年の改変部分の復元)
 ・耐震補強
 (別棟倉庫)
 ◇建築基準法上の大規模の修繕
 ◇用途: 倉庫
 ・屋根葺き等の葺き直し、北側越境の屋根の是正
 ・劣化も思われることから安全上の担保が必要。今後、人の進入には安全性向上を図る。
 活用に応じて対応する。
【旧蔵】
 ◇修理工事対象外
 活用にあたっては、耐震補強・基礎や腐朽部の修理、設備の更新が必要となる。
【その他】 次の建築物等は解体撤去(除却)とする
 ・倉庫・宿舍・渡廊下、前

外構(塀・舗装)
 ・北側と北西側は、既存の塀の意匠を踏襲し、高さを低く整備する。
 ・舗装は、敷地内のパブリックに配慮する。
駐車場
 ・機械式のゲートを設ける。中型バス1台分を設ける。
 ・駐車場の真半を車庫用芝生舗装とし、イベントなどに活用を図る。
庭園(植栽)
 ・剪定を行う。景石などのパランクスをとり、樹形を整える。
樹木
 ・本館北側の高木(針葉樹2本)は、倒木の危険があり、伐採する。
 ・なるべく多くの既存樹木を残し地域の植生の保全に寄与する。
 ・全体として剪定を行う。特に敷地外 越境を是正する。

